

Member Circular 8/2015

各保険年度総括、2016保険年度保険料率算定、2015年8月20日付の半期報告書

こちらは、英文記事「[Member Circular 8/2015: Review of policy years, premium rating for the 2016 policy year, and half year status report as at 20 August 2015](#)」（2015年10月）の和訳です。

メンバー各位

まとめ

Gard P. & I. (Bermuda) LtdおよびAssuranceforeningen Gard - gjensidig（以下「組合」といいます）の2015年第2四半期（2015年8月20日）の財務状況が引き続き強固であることを、ここにご報告申し上げます。主要な会計および業績データ¹と組合理事会による決定の概要について、Gard P. & I. (Bermuda) Ltdの運営会社であるLingard Limitedの承認のもと、下記のとおりご報告いたします。

- ・ 2015年8月20日現在の連結危険準備金（Consolidated contingency reserve）は10億1500万米ドル（2015年2月20日は9億6900万米ドル）となり、組合に信頼性と安定性をもたらす結果となった。
- ・ 2012保険年度はさらなる保険料を徴収せずに終了。
- ・ 2013保険年度および2014保険年度ともに、後払保険料(Deferred Call)または追加保険料(Supplementary Call)の徴収は予定していない。
- ・ 2016保険年度のP&I相互保険とFD&D特約の前払保険料(Advance Call)は一律で2.5%増加。

以下の各保険年度の説明において、「追加保険料」という用語は、当該年の予想「後払保険料」を超える保険料のみを指します。

各保険年度総括

終了した年度

2006、2008、2011保険年度の保険金請求額がプラスに推移したことを一因として、すべての終了した年度の剰余金の見積もりが改善しました。

2012保険年度の終了

2013年9月に当初の見積もりの25%を下回る15%の後払保険料の徴収を行いました。当年度は過去6カ月よりわずかながら改善しました。理事会は、さらなる保険料を徴収せずに2012保険年度を終了することを決定いたしました。

¹ 「連結」という用語は、Assuranceforeningen Gard – gjensidig、Gard P. & I. (Bermuda) Ltdおよびその子会社の連結会計を意味します。

終了していない保険年度

2013保険年度

2014年9月に当初の見積もりの25%を10ポイント下回る15%の後払保険料の徴収を行いました。当年度は過去6カ月よりわずかながら改善し、さらなる保険料の徴収は行わずに、2016年10月に終了する予定です。

2014保険年度

2015年9月に、同じく当初の見積もりの25%を10ポイント下回る15%の後払保険料の徴収を行いました。2014保険年度の実績は過去6カ月間より改善し、剰余金が生じる形で終了する見込みです。当年度は、さらなる保険料の徴収は行わずに、2017年10月に終了する予定です。

2015保険年度

2015保険年度の上半期は、2014保険年度上半期と比較して保険金請求金額が22%増加しました。当年度はこれまでのところ200万米ドル超の新規保険金請求が5件あり、このうち1件は組合の保有額を超えています。2015保険年度については、引き続き25%の後払保険料が徴収されることを予算上見込んでいただきますようお願いいたします。

精算保険料(Release Call)

精算保険料は、該当する未終了の保険年度における該当船舶に対する見積合計保険料に対する比率として計算されます。理事会は、現時点の見積ならびに精算保険料の設定に関する慣行に従い、未終了の保険年度の精算保険料について、以下のとおり議決しました。

2013保険年度:	5%
2014保険年度:	5%
2015保険年度:	20%
2016保険年度:	20%

2016 保険年度の保険料に関する方針

通常は、予定保険料方式(Mutual premium entries)と定額保険料方式(Fixed premium entries)のいずれの場合も、保険料率の水準は各メンバーの損害履歴(ロスレコード[Loss record])と予想保険金請求額(Expected claims)によって決まります。しかしながら、2016保険年度については、現保険年度と同様、すべての保険の保険料を一律に引き上げる方法をとらずに、相互P&I事業の保険料率については、正味合算率(Combined ratio)による保険勘定の目標値をベースとして算定することを決定いたしました。正味合算率は、見込保険料収入に対する当該年度の見込保険金請求額および管理費の割合を表します。

こうしたことから、理事会は、2016保険年度について、P&I相互保険の正味合算率を約102.5%として保険料を調整することを決定いたしました。これは、船主相互P&I保険の前払保険料については一律で約2.5%の引き上げ、相互FDD特約については一律で2.5%の引き上げに相当します。2016保険年度の後払保険料は、前払保険料の25%といたしました。

また、理事会は、2016保険年度は約款(船舶)附則V第2条に規定されたP&Iリスクの標準免責額(Standard deductible)はそれぞれ現在と同じ金額とし、P&Iリスクの標準免責額以下の免責額については、一律1000米ドル引き上げることと決定いたしました。

さらに、2016 保険年度については国際 P&I グループの再保険契約コストの変更を織り込み、各メンバーの保険料率を個別に調整します。2016 保険年度の国際 P&I グループと組合の再保険契約の詳細については、後日発表します。

2015年8月20日現在の半期報告書

総トン数（P&I相互保険）

2015 年 8 月 20 日現在、船主による保険対象の総トン数は 2 億 1140 万 GT です。このうち、P&I 相互保険の総トン数は 1 億 9330 万 GT、定額保険料に基づき、国際 P&I グループの外部の再保険に付された移動式海洋掘削装置(Mobile offshore units)の総トン数は 1810 万 GT となりました。2015 年 2 月 20 日時点の比較数値は、それぞれ 1 億 8870 万 GT および 1800 万 GT でした。

連結会計の主要な数値

総資産は、前年度末の 27 億 4700 万米ドルから 32 億 7100 万米ドルに増加しました。連結ベースの偶発危険準備金(General contingency reserve)は、前年度末の 9 億 6900 万米ドルから 10 億 1500 万米ドルに増加しました。

連結ベースでは、2015 年度上半期は 4600 万米ドルの利益を計上しました。全事業分野にわたる保険勘定による連結剰余金は 6100 万米ドルとなり、これにより正味合算率は 84%となりました。会社勘定による連結剰余金は、900 万米ドルのマイナスとなりました。

上記に関するご質問は、[Bjørnar Andresen](#) (Group Chief Underwriting Officer) が担当となりますが、Gard Japan (Email: gardjapan@gard.no) までご連絡頂いても結構です。

敬具

GARD AS



Rolf Thore Roppestad
CEO（最高経営責任者）

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。